

## 魚津市定例記者会見 6月

日時：平成28年6月1日（水） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社  
チューリップテレビ、富山テレビ放送、NHK、NICE TV、  
ラジオミュー

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、産業建設部長、民生部長、  
企画政策課長

### 1. 市長からの説明事項

#### (1) 就任後の公務の状況、感想など

5月10日に市長に就任し3週間経ったところだが、連日、様々な団体の総会等に積極的に顔を出させていただき、各団体や地域などから声を聴かせてもらいながら日々過ごしている。間もなく6月市議会定例会も始まるが、まずは地域の皆さんの声をしっかり聴きながら今後の市政展開の参考にさせてもらえればと思っている。もうしばらくはこういった状況が続くようだが、しっかり務めていきたいと思っている。

#### (2) 5月中の行事の振り返り

5/15には第4回よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり、5/22には来年の全国植樹祭のプレ大会としてとやま森の祭典が、そして5/29には戦国のろしまつりと大きなイベントが続いた。いずれも大変よい天気にも恵まれ、たくさんの市民の方に会場へ足を運んでいただきよかったと思っている。特に森の祭典は、来年に向けてのプレ大会ということでもあり、その成果も振り返りながら植樹祭本番に向けて準備をしていきたい。

チャレンジデーは、残念ながら指宿市さんに負けてしまった。（参加率の）目標50%を掲げて市民の皆さんに呼びかけ、結果は50.3%でその目標が達成できたことは嬉しく思っている。勝負なので勝った方が嬉しいのだが、成果については満足している。来年に向けてまた市民一丸となって健康づくりをめざし、この取り組みにも参加できればと思っている。

#### (3) 6月市議会定例会に提案する補正予算の主な内容

6/6～6/23で会期は18日間。私にとっては初めての定例会になる。

補正予算では、市の情報発信をもっと分かりやすく効果的にするためのホームページリニューアル経費、学校統合に合わせて進めていく校舎の整備にかかる費用などを計上していく。また、老朽化が進んだ下水道施設の修繕費も計上していく。基本的に当初予算でほとんど必要なものは組んであるので、大きな補正はないが

どうしても今の時点で必要なものを6月でお願いをしていくという予算組みになる予定だ。

(4) その他

①今年の8月に開催される全国大学女子野球大会がちょうど30回記念大会になる。一部報道で、30回記念大会に向けて学生さんも主体的に加わっていく企画などをやっていこうということも出ていたが、この大学女子野球という全国的にも特色のある先駆的な事業が30年を数えるのはある意味すごいと感じており、ぜひこの取り組みをさらにしっかりと続けていけるような、そういう大会になればと思っている。

②6/4、5に長野県で全国植樹祭が開催される。来年度の本番に向けてしっかり準備をするために私も長野の全国植樹祭を視察し、開催運営の留意点などをしっかり見てきたい。

2. 質疑応答での市からの説明内容

「6月補正予算関連」

《記者からの質問》

選挙期間中にマニフェストで示されていた中身で、実現がみえてきたようなものはあるか。

《回答》

現在のところ予算に反映させる段階ではない。いくつか話をしてきたが、まだその準備段階という状況にあるのでそれらが表に出てくるのはおそらくもう少しばかり時間がかかると思われる。

《記者からの質問》

ホームページのリニューアルは、どのようにして分かりやすいホームページにするのか。リニューアルのスケジュールはどうなっているか。

《回答》

現在のホームページは23年4月から運用している。最近、子育て情報、定住情報など市で前面に出したいものを掲載しても探しにくいという声が聞かれるようになり、そういったものを検索しやすいホームページにしたいと思っている。そのほか、災害発生時の利用も想定しながら進めたい。今年度中に作業をし、来年4月に運用開始の予定。

《記者からの質問》

(現在のホームページが) 分かりにくいと言われるのはどのような内容なのか。

《回答》

主に配置の点で、例えば定住促進サイトへのリンクが一番下にあって見つけにく

い。もっと目立つ場所に移動させようにも、現在のシステムではそれがかなわない。市民の皆さんの関心が高いものを目に付きやすいところに配置する形を目指している。

#### 《記者からの質問》

ホームページリニューアルの主な目的は、アクセス数を増やすことか、それとも現在の利用者の利便性を高めることか。

#### 《回答》

アクセス数、利便性とも向上を目指している。

### 「消費税増税再延期についての感想」

#### 《記者からの質問》

本日（6/1）夕方にも安倍首相が消費税増税再延期を表明すると言われているが、これに対する率直な感想をお聞かせ願いたい。

#### 《回答》

税と社会保障の一体改革というフレームの中で、2～3年後、国民健康保険が県に移管する時に低所得者対策で消費税増税分を投入するという見込みだったので、その部分が市町村へダイレクトに影響することが心配であり、気になる。その対応をしっかりとっていただきたいというのが、現在の立場での率直な思いだ。

### 「村椿カラーを打ち出していくのは、いつ頃になるか」

#### 《記者からの質問》

現在、いろいろな総会に出て皆さんの声を聞いているということだが、村椿カラーをどのタイミングで打ち出していく考えか。まだ先という話であったが、目安として9月議会までにはとか、夏ごろまでにはとか、自分の中で目標にしている時期はあるのか。

#### 《回答》

選挙戦は、教育、観光、子育てという形で訴えてきたが、それぞれの分野はスピード感がちょっと違うと思っている。例えば観光は、以前から市の状況などある程度は把握していたつもりなので、（自分が）言ってきたことと実際に準備して進められてきたことにそれほど大きな違いはないと思っている。ただ、台湾（インバウンド）にしぼって誘客をしっかりとやろうと、これを足掛かりにして2020年の東京オリンピックまでにどういうふうにしていくかということをもう少し幅を広げて考えていくことが大事だと思っている。今の台湾向けの取り組みをしっかりとやって、新しい観光振興計画の中で参加者を広げていくようにする。そういう意味では、すでにスタートしているのと同じでそこにもう1段ギアをアップする取り組みが計画策定と同時に進んでいくのだと思っている。

教育の話は、まさに学校統合整備と進捗はおそらくリンクしていくのではないかと

と思う。子ども達の教育環境のハード面を整備していくのに合わせて、私が申し上げてきた特色ある教育というソフト面をどのタイミングで入れ込んでいくかということになる。なので、教育の方も整備の進み方をみながらという形になるのでは。

一番話題にしなければならないのは、子育て（施策）の産婦人科クリニック、すなわち子どもを産む場所の話だと思う。これについては、従前から、中心になるドクター確保のめどはついたということを何度もお話している。大切なのは、魚津で年間 250～260 人位が生まれているが実際に産む場所は隣の自治体だったり富山市であったりという現状と、出産人数を踏まえてどのくらいの規模の産院にするのかということ。そのあたりが決まってくれば、どのくらいのスタッフが必要なのかという話になる。基本的にドクター1人では無理なので、応援体制を組まなければならない。そのためのドクターの確保といったことをどのようなところにアプローチをすればよいかというのを相談しているのが現状。そのうえで、助産師など産院のスタッフとベッド数のフレームがある程度見えると今度はそれを基にした産院運営のシミュレーションができるので、それをもとに議会などへお諮りしていきたい。このくらいの規模であればおそらく財政負担が出てくるので、これくらいの応援をしても市民の皆さんのためなら理解が得られるとか、そこまでかけるのならもう少ししぼるとか、そういう議論になってくるのでその題材を作っていくのがおそらく夏ごろになるだろうと、そういう意味だ。

#### 《記者からの質問》

観光に関して、選挙期間中もDMOの話題にふれたり新しい組織体に向けた話があったが、今回（観光振興計画）の策定とどうからんでいくのか。それと、たてもんがユネスコ（無形文化遺産）に登録される公算が大きいということも（選挙）期間中の言葉の中にあったと思うが、登録以降の地元で活用していくための体制づくりやリミットが近づいていることについてはどのようなスケジュール感をもっているか。

#### 《回答》

組織作りについては、つい先日、県の観光協会が観光庁のOKでDMOになったというのがある。私としては幅広い分野の方々、観光業者だけでなく農業や水産業や祭りの団体、あるいは場合によっては地域振興会など幅広い方が加わった観光を全体的に取り組んでいくための組織作りをしたいということで話をしてきた。実際には観光に取り組んでいく組織がいくつかあり、魚津だけのもの、新川圏のもありそういった視野が必要なのかなと思っていて、観光に取り組む既存の団体との役割分担とか関係もしっかり見極めないといけないのかなと思っている。ただ幅広い関係者の加わった組織作りの取り組みは必要だと思っており、これも新しい観光振興計画の策定進度に合わせてどのタイミングでどういう形でやればいいのかを考えて打ち出したいと思っている。

たてもん（のユネスコ登録）は晩秋の頃だと思うので、これはもう具体的な取り組みを出していかなければならないと思っている。ただ、今の6月（定例会）とい

うことではなくもう少しあとのタイミングなのかなと思っており、高岡とか南砺市も同時に（登録を）受けるので、県もそういったものを応援するような予算立てもあるようだ。県のほうともしっかり相談・協議しながら魚津市の具体的な取り組みやあるいは他の市と連携した取り組みを考えていきたい。

## 「市庁舎の耐震化計画」

### 《記者からの質問》

熊本地震では、庁舎が損壊して罹災証明が出せないという事態も発生している。魚津市庁舎も耐震改修をしないまま、公共施設再編方針では平成 35 年に建て直すとなっている。それまでの長い 8 年間放っておくのか、その間に地震が発生したらどうするのかということと、もし耐震化すれば二重投資になるということをお合わせ、現在ほどのように考えているか。

### 《回答》

正直、非常に悩ましい話だと思う。すぐに適地を求めて建て直すとか、あるいは大規模な耐震改修をするというのはなかなか難しい。万が一、大規模な地震が起きた時に、事業継続計画のような形で最低限どうすれば機能が維持できるのか、あるいはこのままでダメだとすれば最低限何をしなければならないのかということをお議論しようというのが今の状況だ。